

(別紙様式)

# 平成29年度学校自己評価システムシート ( 県立松山高等学校 )

目指す学校像	建学以来の伝統である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成する。
--------	---

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<p>1 「チーム松高」としての組織的指導力に基づき、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させる。特にSSH研究開発実施計画の円滑な実施を通して、学校の更なる発展・活性化を目指す。</p> <p>2 自己の在り方生き方を常に考えさせ、心身ともにたくましい、常に挑戦者たる生徒を育てる。</p> <p>3 本校の良さを積極的に発信し、保護者、地域の小中学校や住民、同窓会との「絆」を深め、地域から一層信頼される学校づくりを進める。</p>
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	4名
	生徒	1名
	事務局(教職員)	5名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成 目標を意味する。)は複数設定可。 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 1 月 2 5 日 現 在 )			実 施 日 平成30年2月6日	
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達成度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	<p><b>【現状】</b> 入学当初ほとんどの生徒が国公立大学や難関私立大学への進学を希望しているが、学年が上がるにつれて、第一志望への挑戦を諦めてしまう生徒も少なくない。</p> <p><b>【課題】</b> 早い段階からの充実した進路指導、アクティブラーニング等による授業の工夫改善、土曜授業や補習体制の工夫と充実により、高い志に挑戦し続ける態度を育成することが課題である。 2期目のSSH研究開発校の指定を受け、さらなる効果的な取組の工夫が課題である。</p>	第一志望実現に挑戦し続ける生徒を増やし、進学実績を向上させる	<p>①進路ガイダンスや学習オリエンテーション等による、1年次からの進路指導の計画的実施と充実</p> <p>②模試の分析結果の活用や面談等による生徒一人一人に応じた進路指導の実施</p> <p>③進学補習「松高塾」の量的増加と質的向上</p> <p>④県指定の「キーパーソン育成プログラム」を活用した授業改善及び学力向上</p> <p>⑤保護者対象の進路行事(研修会、大学見学会等)の実施による意識啓発</p> <p>⑥土曜授業の実施日の工夫による効果的な展開</p> <p>⑦校内ビブリオバトルによる読書活動の推進</p> <p>⑧学校間ネットワークを通じた学び合いの実施</p>	<p>①第一志望をあきらめない生徒の割合が昨年度より増加したか。</p> <p>②国公立大学合格30人以上、早慶上理GMARCI合格120人以上を達成できたか。</p> <p>③進学補習「松高塾」が質的に向上し、量的に増加したか(前期、後期、長期休業中)</p> <p>④生徒は学力の向上や自分の進歩を実感できたか。</p> <p>⑤保護者の進路意識が向上したか。</p> <p>⑥出張による土曜授業の自習が減らせたか。</p> <p>⑦ビブリオバトル参加者数が増加したか。</p> <p>⑧学び合いの成果を校内にフィードバックできたか。</p>	<p>【第一志望に挑戦し続ける生徒の割合が増加している。さらに進学実績向上に結び付ける。】</p> <p>①現3年生の国公立大学進学希望者 1年次4月の希望者に対する3年次4月の希望者の割合 50.1%(前年比+10.9%)</p> <p>②国公立大学28名合格、早慶上理MARCH68名合格(3/29現在)</p> <p>③「松高塾」を101講座実施(前年比+14)。英検対策の講座を充実させ、準1級2名、2級23名、準2級135名が合格した。</p> <p>④授業アンケートで「授業を受けて学力の向上や自分の進歩を実感できた」と回答した生徒の割合 6月73.9%→12月72.6%であり、横ばい状況である。</p> <p>⑤6/3に保護者進路説明会を開催(参加率55% 前年比+1%)、2/3に保護者進路研修会を開催した。</p> <p>⑥土曜授業の自習・課題の割合 6.7%(前年比1.6%減)</p> <p>⑦参加対象を1年から1、2年全員に広げ、読書活動を推進した。</p> <p>⑧担当者間で情報を共有したが、フィードバックはできなかった。</p>	B	<p><b>【課題】</b> ・進学実績のさらなる向上 ・土曜授業のさらなる効果的展開</p> <p><b>【改善策】</b> ・アクティブラーニング等を取り入れた指導方法の研究等、授業改善を進める。 ・新学習指導要領を見据えた教育課程の研究を進める。 ・行事を点検し、授業確保に取り組む。</p>	○入試の倍率を上げるためにも、進学実績の更なる向上に取り組んでいただきたい。
		SSH研究開発をとおして学力を向上させる	<p>①SSH計画書に基づく方策の実施</p> <p>②生徒研究発表会及び英語発表会の実施</p> <p>③アウトリーチ活動(生徒を通じた小・中学生との交流等)の実施</p>	<p>①大学や研究機関等と連携した体験活動や出前授業を10回以上実施できたか。</p> <p>②生徒研究発表会、英語発表会を実施できたか。</p> <p>③小中学生対象の科学教室を実施できたか。</p>	<p>【各取組を通じ、自らテーマを設定し調べて発表する力を育成できた。】</p> <p>①筑波大学・理化学研究所・科学未来館の見学、大学の教員による出前授業を合わせて12回実施した。</p> <p>②6/10英語発表会実施、2/10に生徒研究発表会実施した。</p> <p>③7/16に親子理科教室、12/7に松一小理科教室を開催。理科系部活動生徒が指導補助にあたった。</p>	A	<p><b>【課題】</b> ・SSH行事へより多くの生徒の参加(普通科等)</p> <p><b>【改善策】</b> ・SSHの取組内容の更なる工夫</p>	○英語検定の取組は素晴らしい。卒業までに全員英語検定2級を取得させる指導をしている私立高校もある。1年次から英語検定に学校として取り組んでいただきたい。
2	<p><b>【現状】</b> 多くの生徒が基本的な生活習慣を確立しており3年間皆勤者も多く、来校者や教職員への挨拶もよく行われている。3年生になっても約9割の生徒が部活動に加入しており、県の上位はもとより全国一を目指す生徒が多い。</p> <p><b>【課題】</b> 登下校のマナーの改善、特別な支援を要する生徒に対する対応が課題である。部活動指導体制の維持が課題である。</p>	日々の生徒指導や部活動、生徒会活動、学校行事をとおして心身ともにたくましい生徒を育成する	<p>①全教員による全体指導及び個別指導を通じた規範意識の確立</p> <p>②全教員による計画的な登校指導による自転車や徒歩で通学する生徒の交通マナーの向上</p> <p>③生徒アンケートや日頃からの生徒観察による安心安全な学校生活の保障</p> <p>④支援を必要とする生徒相談体制の充実と、SC、SSWをはじめとする外部機関との連携</p> <p>⑤生徒会行事の内容の充実及びボランティア活動等への積極的な取組</p> <p>⑥一層緻密な指導体制の確立による部活動のさらなる活性化</p>	<p>①整容指導の実施(3回以上)と個別指導で規範意識が向上したか。</p> <p>②全教員による登校指導(10回)により交通マナーが向上したか。</p> <p>③いじめ・問題行動は100%解決できたか。</p> <p>④生徒相談委員会の定期的な実施とともに、SC、SSW、特別支援コーディネーターと効果的な連携が図れたか。</p> <p>⑤生徒主体による学校行事やボランティア活動の取組が充実したか。</p> <p>⑥全国レベルや関東レベルの大会へ10以上の部活動が出場できたか。</p>	<p>【諸活動を通じて、生徒は心身ともにたくましく成長している。】</p> <p>①整容指導を3回実施した。規範意識は良好である。</p> <p>②全教員による年10回登校指導を行った。交通マナーは概ね良好である。</p> <p>③いじめアンケートを年2回実施。いじめ又はいじめと疑われる事案が2件発生したが、2件とも解決した。</p> <p>④毎月生徒相談委員会を開催した。SCIは18回来校し、延べ59人の生徒がカウンセリングを受けた。外部の特別支援コーディネーターと1回連携した。</p> <p>⑤スリーデーマーチに部活動や生徒会役員及び有志生徒がボランティア参加、夏休みに松一小の水泳教室やサマースクールで部活動や有志生徒が指導補助にあたるなど、多くの行事に参加した。</p> <p>⑥7つの部が全国レベルや関東レベルの大会へ出場した。</p>	A	<p><b>【課題】</b> ・特別な配慮を要する生徒への対応 ・部活動指導体制の維持</p> <p><b>【改善策】</b> ・生徒相談や特別な支援を組織的に対応できるような体制をつくる。 ・全教員による指導体制を継続する。</p>	○「自転車マナーアップ推進校」なので、さらに自転車のマナー向上に取り組んでいただきたい。
3	<p><b>【現状】</b> HPによる情報発信、東松山市及び地元小中学校と連携した様々な行事の実施など開かれた学校づくりを行っている。</p> <p><b>【課題】</b> H29年度入試の志願倍率は普通科が1.15倍、理数科が1.83倍であった。今後中学生が減少する中、地域から選ばれる学校づくりを進める必要がある。入試倍率を、普通科1.20倍以上、理数科2.00倍以上にするのが課題。</p>	積極的な情報発信を行うとともに、外部との連携を強化し、入試志願者を増加させる	<p>①ホームページを活用した教育活動の効果的・積極的な情報発信</p> <p>②体験授業や部活動等を通じた地元小中学校との積極的連携</p> <p>③東松山市の行事に積極的に参加することによる地域との連携強化</p> <p>④進路研修会等を通じたPTA・後援会・同窓会との連携強化</p> <p>⑤日程と内容の工夫による学校説明会や個別相談会体験授業の充実</p> <p>⑥塾訪問や塾主催の説明会の積極的な参加による生徒募集強化</p>	<p>①HPの更新を頻繁に行い、アクセス数が増えたか。</p> <p>②小中学校との連携行事や中学校へのPR活動を積極的に行ったか。</p> <p>③東松山市主催の行事に積極的に参加したか。</p> <p>④PTA・後援会や同窓会と緊密に連携できたか。</p> <p>⑤学校説明会等への参加者が増加したか。</p> <p>⑥市町村や塾等が主催する進学説明会への参加回数</p>	<p>【積極的な情報発信を行い、外部との連携強化を図ったが、生徒募集には必ずしも結びついていない。】</p> <p>①HPはほぼ毎日更新した。本年度後半のHPアクセス数は約1400件/日であり、本年度当初の約1.3倍である。</p> <p>②松山中、松山北中2年生を対象に体験授業を実施、他の市内3中学校で学校説明会を実施、近隣中学3年生対象の理数科体験授業等を実施した。</p> <p>③スリーデーマーチ・愛の一声運動・ごみゼロ運動・まちゼミ等、東松山市主催の行事に、生徒・教員・PTAで参加した。</p> <p>④PTA活動では、支部懇談会や比企一周駅伝(約500名の保護者の協力)等で、同窓会からは、部活動やSCの活用等を通じて多くの協力をいただいた。</p> <p>⑤当初予定した3回の説明会の他、サタデーミーティングを開催した。参加総数は前年度並みであった。</p> <p>⑥全教員で塾訪問を行った。新規に塾対象説明会を開催した。市町村や塾等が主催する進学説明会へ25回以上参加した。</p>	B	<p><b>【課題】</b> ・積極的な情報発信、外部との連携強化をいかに生徒募集につなげるかが課題。</p> <p><b>【改善策】</b> ・本校の「良いところ」を重点的に発信する。 ・各説明会の実施時期等を再検討する。 ・PTAや同窓会との緊密な連携体制を継続する。</p>	○地域のトップ校への進学が難しいと、私立高校に志望を変える生徒が多い。松高は面倒見が良いという評判なので、もっと積極的に「良いところ」を発信していただきたい。

○男子校に通っている兄に勧められて、松高に進学してよかったと思っている。(生徒代表)

